

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和5年8月）

## 《今月のトピックス》

- 梅毒が20歳代～50歳代を中心として多く発生している他、性器クラミジア感染症などの性感染症にも注意が必要です。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告数が多くなっています。食品の加熱処理や、食事の前などには手を洗いましょう。
- 新型コロナウイルス感染症は幅広い年齢層で患者が増加しています。基本的な感染対策を心がけましょう。

### ◇ 全数把握の対象

＜8月期に報告された全数把握疾患＞

腸管出血性大腸菌感染症	25件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4件
E型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
アメーバ赤痢	3件	水痘(入院例に限る)	2件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6件	梅毒	32件
急性脳炎	1件	百日咳	2件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6件	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1件
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件		

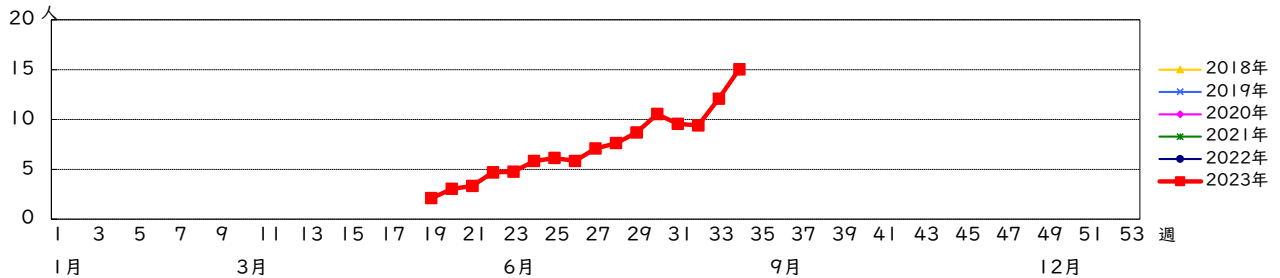
- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～70歳代で、血清群O157が21件、O103が2件、O74が1件、O168が1件です。経口感染と推定される報告が9件、接触感染と推定される報告が4件、感染経路等不明の報告が12件ありました。
- 2 **E型肝炎**:50歳代で、感染経路等不明です。
- 3 **アメーバ赤痢**:40歳代～50歳代で、性的接触と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が2件ありました。
- 4 **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:60歳代～80歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 5 **急性脳炎**:60歳代で、病原体不明、感染経路等不明です。
- 6 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:10歳未満～80歳代で、血清群はA群が3件、G群が2件、不明が1件です。創傷感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が4件ありました。
- 7 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:50歳代で、性的接触(異性間1件、詳細不明2件)と推定されています。
- 8 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:70歳未満～80歳代(ワクチン接種歴無1件、不明3件)で、いずれも感染経路等不明です。
- 9 **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～50歳代(ワクチン接種歴4回1件、不明1件)で、いずれも感染経路等不明です。
- 10 **水痘(入院例に限る)**:70歳代～80歳代(ワクチン接種歴不明2件)で、飛沫・飛沫核感染または接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 11 **梅毒**:10歳代～70歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期16件、早期顕症梅毒Ⅱ期8件、無症状病原体保有者8件です。性的接触による感染と推定される報告が27件(異性間21件、同性間1件、詳細不明5件)、感染経路等不明の報告が5件ありました。
- 12 **百日咳**:10歳未満(ワクチン接種歴4回2件)で、いずれも感染経路等不明です。
- 13 **薬剤性アシネトバクター感染症**:80歳代で、医療器具関連と推定されています。

報告週対応表	
第30週	7月24日～7月30日
第31週	7月31日～8月6日
第32週	8月7日～8月13日
第33週	8月14日～8月20日
第34週	8月21日～8月27日

◇ 定点把握の対象

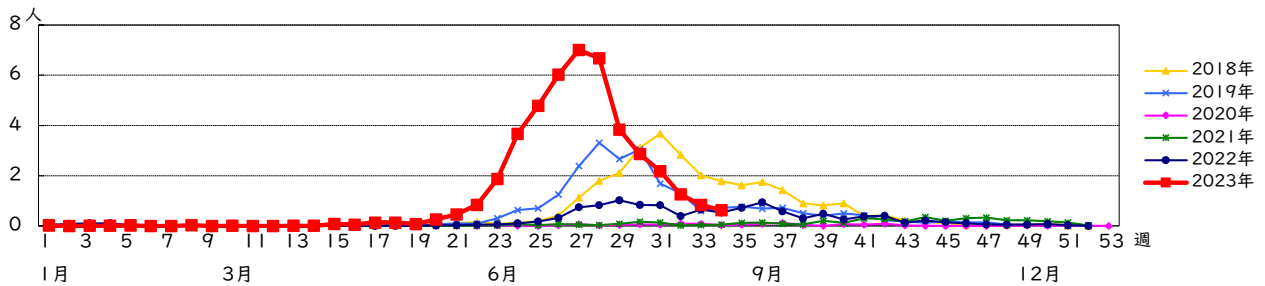
1 新型コロナウイルス感染症:

2023年5月8日(第19週)以降は定点報告となりました。第19週は2.10で、以降増加が続き、第30週10.53、第31週9.56、第32週9.40、第33週12.08、第34週15.04と推移しています。



2 ヘルパンギーナ:

2023年第20週(0.27)以降増加しはじめ、第26週6.02で流行警報発令基準6.00を上回りました。第27週7.00でピークを迎え、第32週(1.26)に終息基準2.00を下回りました。第33週0.84、第34週0.64と推移しています。



3 性感染症(7月)

性器クラミジア感染症	男性:35件	女性:22件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:7件	女性:14件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:6件	淋菌感染症	男性:14件	女性:3件

4 基幹定点週報

	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	<b>0.50</b>	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	<b>0.25</b>	<b>0.25</b>	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	<b>0.25</b>	<b>0.50</b>	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(7月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

8月期(2023年第30週～第34週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点38件、内科定点3件、基幹定点7件及び定点外医療機関7件でした。

ウイルス分離1株及び各種ウイルス遺伝子43件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果 (2023年第30週～第34週)

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	上気道炎	下気道炎	インフルエンザ	低月齢発熱	手足口病	発疹	重症グループ症候群・ COVID-19 感染症	COVID-19 感染症	二相性脳症・ 二相性脳症	ウイルス感染症	RSウイルス感染症
コクサッキーウイルスA2型	- 1	- 2			- 1						
コクサッキーウイルスA4型	- 1								- 1		
アデノウイルス	- 1			- 1				- 1			
ライノウイルス										- 1	
RSウイルス	1 1	- 3			- 1						- 1
ボカウイルス		- 1									- 1
SARS-CoV-2							- 1	- 1			
インフルエンザウイルスAH3		- 1	- 2								
パレコウイルス1型				- 1							
パレコウイルス3型				- 1	- 1	- 1					
パラインフルエンザウイルス3型	- 7	- 2									- 1
パラインフルエンザウイルス4型		- 2			- 1						
ヒトメタニューモウイルス	- 3										
合計	1 14	- 11	- 2	- 3	- 4	- 1	- 1	- 2	- 1	- 2	- 2

上段:ウイルス分離数

下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

8月期(2023年第30週～第34週)の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌目細菌3件、劇症型溶血性レンサ球菌2件、サルモネラ属菌2件、嫌気性グラム陰性桿菌1件でした。非定点からの依頼は、緑膿菌1件でした。保健所からの依頼は、腸管出血性大腸菌24件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌5件、侵襲性インフルエンザ菌6件、劇症型溶血性レンサ球菌5件、侵襲性肺炎球菌1件、薬剤耐性アシネトバクター1件でした。

「分離同定」、「小児サーベイランス」の検査依頼はありませんでした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2023年第30週～第34週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌	3 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (2)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)
		劇症型溶血性レンサ球菌	2 B群溶血性レンサ球菌(1)、G群溶血性レンサ球菌(1)
		サルモネラ属菌	2 <i>Salmonella</i> Typhimurium (1)、 <i>Salmonella</i> Oranienburg (1)
		嫌気性グラム陰性桿菌	1 <i>Bacteroides fragilis</i> (1)
	非定点	緑膿菌	1 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> (1)
保健所	腸管出血性大腸菌	24 O157:H7 VT1 VT2 (11)、O157:H7 VT2 (7)、O157 VT2 (1)、O157:H7 VT1 (1)、O103:H- VT1 (1)、O91:H- VT1 (1)、O168 VT2 (1)、Og9:Hg7 VT2 (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌	5 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)、 <i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (2)、 <i>Citrobacter freundii</i> complex (1)	
	侵襲性インフルエンザ菌	6 <i>Haemophilus influenzae</i> UT (4)、 <i>Haemophilus influenzae</i> a (2)	
	劇症型溶血性レンサ球菌	5 G群溶血性レンサ球菌(3)、A群溶血性レンサ球菌(2)	
	侵襲性肺炎球菌	1 <i>Streptococcus pneumoniae</i> UT (1)	
	薬剤耐性アシネトバクター	1 <i>Acinetobacter bereziniae</i> (1)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】